

さかい学^{まなぶ}

にっぽん考



ここから、
日本を動かす。

「言いだしっぺ」として取り組む

～ 地方創生をベースとしたさまざまな施策 ～

■ 一議員としての思い

令和8年、新しい年を迎えました。

昨年元旦は、石破内閣の閣僚として皇居にて陛下に新年のごあいさつをした後、石破総理と共に自衛隊機で能登空港まで飛び、能登半島地震から1年の追悼式典に参列していました。

昨年の警察、防災、海洋などの大臣の仕事と、それまでに担当させていただいた国土交通省、復興庁、財務省、総務省、官邸などでの政務の経験を積み重ね、この一年も戸塚区、泉区、そして、横浜、日本のために貢献していきます。

■ ライフワークとしての地方創生

そうしたなかで、今年は私自身のライフワークを中心に活動し、結果を出していきたいと考えています。

松下政経塾生時代に地方で地域おこし活動をしながら「いい地域とは、何だろう？」と模索し、「住みたい地域」であり、「自己実現ができる地域」だと考えるに至った体験から、地方創生が私の考え方の中心となっています。住みたい、自己実現できると思える地域は、教育や医療、福祉、産業、治安、防災などが整った、安全で安心して生活を営めるところです。

ですから、地方創生は一人ひとりの生活そのもので、すべてのテーマと係わることになると考えています。

また、日本という国は東京だけが栄えるのではなく、地方各地に活気があり、様々な情報発信や動きがある方が、国としての底力も大きくなると考えています。そのために昨年は地方創生の柱として「ふるさと住民登録制度」「広域リージョン連携」を政府の政策に入れてもらいました。これらの施策の定着と拡充に力を注いで参ります。

■ 「おひとりさま」をめぐる課題

またここ何年か取り組んでいるのが、「おひとりさま」を巡る課題です。今までの制度は、家族が世話をすることが前提となっていました。現在、いざという時に頼れる人が身近に居ない人が増えてきます。自分の意志



防災担当大臣として石川県珠洲市の馬縞町を視察した際に、区長(写真左)から水道行政についての相談を受け、既に進めていた「分散型上下水道システム」の実用化に向けた実証事業として進めることになりました。

前防災担当大臣 国家公安委員長
国土強靱化・海洋政策・領土問題等担当大臣
衆議院議員 **さかい学** 事務所

〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町3922 戸塚ビル3階
☎ 045-863-0900 FAX 045-865-6700
メール info@sakaimanabu.com



自民党神奈川県第五選挙区(戸塚区・泉区)支部

(表面より続く)

を自分で決められなくなったり、対応できなくなったり、誰がその役を負うのかが明確でなく、たまたま近くにいた人が無償で負担することになっていて、社会的コストが大きくなっています。

これらの業務を仕事として取り扱う事業者の皆さんが「全国高齢者等終身サポート事業者協会（全終協）」という団体を立ち上げ、業界の質を上げ、信頼を得るための取り組みを始めたことを先月号の小紙でお伝えしましたが、これらの事業者と契約する金銭的余裕がない方々の対応をどうするか、厚労省でも動き始めたところです。

また、横浜市においても「ヨコハマあんしん登録」制度がスタートしており、こちらも動き始めました。そのほか、借家を借りにくいという課題や成年後見人制度や法定相続人の課題など、具体的な議論を進め、順次解決していきます。

■ 防災分野への取り組み

一年間大臣として担当した防災分野では、「安全なところに住む（危険な場所には住まない）街づくり」や「電磁気変化等の地震・津波・火山噴火への活用」などがあります。

特に地震・津波・火山噴火に関しては、今まで気象庁が設置してきた地震計のデータをもとに分析を行ってきました。しかし、それらは結局、地面が揺れた後しか分析の対象になりませんが、そこに電磁場の変化や地下水の変化など、多様なセンサーの数字を活用することにより、地面が揺れる前の地震の初期現象や、津波の危険の終息タイミングや火山噴火の兆候などが今の科学で分かるところまで来ているそうです（東日本大震災では40分前から初期現象が生じていたそうです）。この進歩をぜひ現場で活かせるようにしていきたいと考えています。

■ 経験とネットワークをフル稼働

ほかにも、休眠預金活用事業の充実や「2027年 横浜国際園芸博覧会～GREEN×EXPO～」の成功、水産改革、情報通信分野の経済安保施策、自治会・町内会レベルの防犯体制の強化など、今まで携わってきた課題があります。

それらも言いだしっぺとして、大臣、副大臣、政務官などで仕事をしてきた役所での経験とネットワークを大いに活用して、推進していく一年にしていきます。



ゆいっこ横浜言いだしっぺ支部 活動案内

「ゆいっこ」は、東日本大震災直後に岩手県の仲間と立ち上げた民間の復興支援グループです。さかい学はその中の「横浜言いだしっぺ支部」の代表として、地元の仲間と「顔の見える、息の長いおつきあい」を合言葉に、復興の応援を続けています。みなさんもぜひご参加ください！



Shake Hand ワークショップ

～ 想いをのせた鮭の旅 @ゆいっこ～



開催します！

白い鮭のマスコットに色を塗ったり手芸をしたりして、オリジナルのデコレーション鮭をつくります。出来上がったデコ鮭は、あなたのメッセージと共に岩手県大槌町へ送り返し、復興応援のイベントで展示・販売されます。大槌から放たれた白い鮭に、あなたの想いをのせて、大槌へ返してみませんか？

日時：2026年2月4日（水）13:30～15:30

場所：さかい学事務所（戸塚区戸塚町3922 戸塚ビル3階）

参加費：1匹300円

お申し込み締め切り：2月2日（月）詳細はこちらから→



【お申込み・お問い合わせ】

ゆいっこ横浜言いだしっぺ支部
（さかい学事務所内）

TEL: 045-863-0900

FAX: 045-865-6700

mail: info@sakaimanabu.com

★ワークショップは参加できないけれど、「デコ鮭はつくって送り返したい！」という方も大歓迎！